

# 東京大会におけるアスリートを中心とする検査のあり方について（案）

## 1. 検討対象

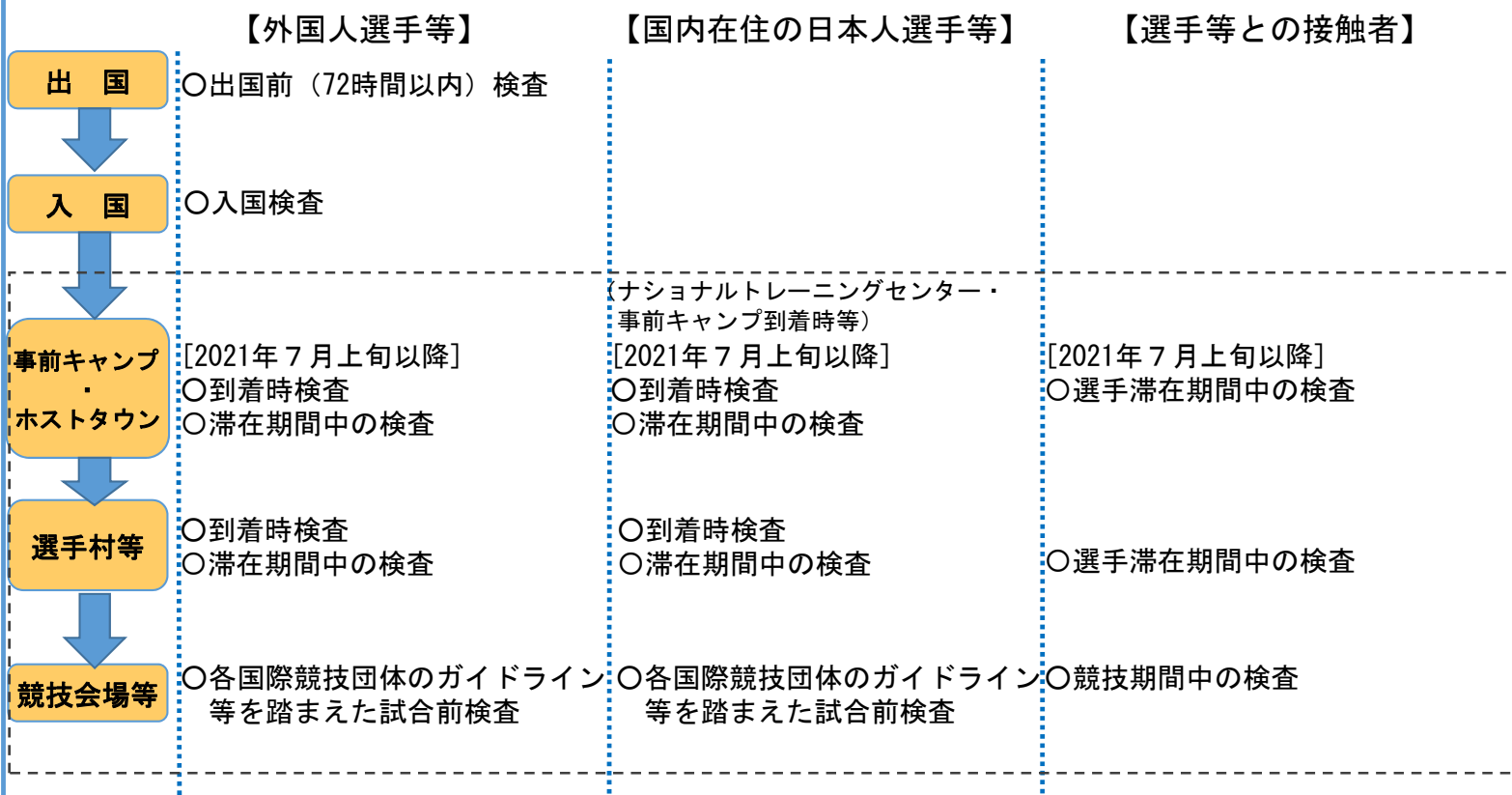
- (1) 東京大会、東京大会に関連する大会（テストイベント等）に出場する外国人選手等
- (2) 東京大会等に出場する国内在住の日本人選手等
- (3) 大会関係者（IOC、IPC、IF等）
- (4) 選手等との接触が見込まれる者（ホストタウン・事前キャンプ、選手村担当者等）

## 2. 対応案

下記のとおり、ジャーニー（行程）の場面ごとに検査のあり方を検討してはどうか。

- ・ 出入国時における防疫施策の一環としての外国人選手等への検査を求めるほか、入国後もホストタウン・選手村を安全安心な環境とする等大会運営上必要な検査を実施
- ・ 国内在住の日本人選手等も大会運営上必要な措置を外国人選手等と同様に実施

※その際、IOC、IPC、IF等と連携しつつ、詳細な検討を進めていくことが必要



※ 選手村・試合前検査やホストタウン・事前キャンプにおける検査に係る実施頻度等の検査のあり方、検査体制や陽性者発生時の保健・医療の体制等の確保については、今後、詳細な検討を進める



検査結果について、速やかに把握・共有するシステムを構築